

マドリーム通信

在スペイン日本国大使館附属
マドリッド日本人学校
文責 堀内正樹
令和元年10月4日 No. 7

身につける

朝夕は上着が欲しい季節となりました。

マドリッド日本人学校では、今月の文化祭に向けて準備を進めているところです。

時々体育館での劇の練習を見に行っています。9月に入って間もないころの練習では、台本を片手に台詞を読む練習をしていました。その頃は、間違えずに読むことに必死で、台詞の意味については全く理解していないことが見て取れ、体全体から硬さが伝わってきていました。台詞を大分覚えることができた最近の練習で、教員がこんな指導をしていました。

- ・口をきちんと開けて、助詞をはっきり発音する。
- ・遠くまで聞こえるように、たっぷり息を吸って発音する。
- ・お腹から声を出すイメージを持つ。
- ・タイミングよく、台詞の内容にあった身振り手振りを加えてみる。
- ・どちらを向いて台詞を言うのがいいか考える。

子供たちの上達は目を見はるものがあり、時折笑顔を見せながら役になり切っていることもありました。

日本の学校の教育課程では、小学部の低学年児童は日本語を身につけるために週に7～9時間ほど国語の授業を受けています。しかし、その授業の中で学習した「読むこと」「書くこと」「話すこと」はその授業の中だけで身につくものではありません。「使えるもの」にするためにはたくさんの練習が必要です。毎日の生活での日本語の会話も定着のための練習になりますが、文化祭に向けての練習は、日本語を体に染み込ませる(身につける)ためにも大変な効果があるように感じます。

中学部の生徒も同じように劇を演じます。その練習の中で、台本の内容を理解し、脚本家の思いや日本人のものの感じ方に気づくこともあると思います。

日本の教育は、教科での学びを行事や特別活動を通して、さらに深めることをねらいとしていることを改めて感じました。

文化祭で堂々と演じ切る児童生徒の姿を期待しています。



10月の予定

1	火	全校集会 委員会
2	水	日本食ランチ
3	木	発育測定
4	金	部活動
5	土	
6	日	第2回英語検定
7	月	
8	火	
9	水	中華ランチ
10	木	
11	金	部活動
12	土	イスパニアデー
13	日	
14	月	
15	火	
16	水	パエリアランチ
17	木	
18	金	
19	土	補習校バザー
20	日	第2回漢字検定
21	月	
22	火	即位礼正殿の儀
23	水	ボカディージョランチ
24	木	
25	金	
26	土	
27	日	文化祭
28	月	振替休日
29	火	読書週間(～11/8)
30	水	中華ランチ
31	木	



ちょっといい話

後期から、新しく低学年スペイン語の先生として Daniel 先生をお招きしています。

授業で工作をしながら会話の練習をしていた時のこと、Daniel 先生が片づけをしようと箒を取りに行ったとき、子どもたちが**率先して後片付けや掃除を当たり前のようにしたそうです。**スペインの学校ではあまり見かけない姿のように、Daniel 先生から「涙が出るほど嬉しかった」と最高のお褒めの言葉をいただきました。



文化祭に向けて

10月27日(日)に行われる文化祭に向けて子供たちは毎日練習に取り組んでいます。

実行委員会が今年のテーマを「響けマド日！～夜空にきらめく星のように～」としました。児童生徒一人一人の個性が、文化祭の中で輝くようにという願いが込められています。

・日時 令和元年 10月27日(日)

開会式 9:30

演示、展示

閉会式 11:50～12:05

・場所 マドリッド日本人学校体育館

・内容 全校合唱 オープニングセレモニー

中学部発表 小学部発表 英語科発表

スペイン語発表 幕間ステージ

教科での作品展示 等

一人一人が教科で取り組んだ知識や技能を使って、思いきり表現してくれるものと思います。

ご都合が合わせ是非ご来校ください。

練習風景より



小学部演劇練習



中学部演劇練習

Colegio Japonés de Madrid

文化祭

響け！マド日 ～夜空にきらめく星のように～

★日時 令和元年 10月27日(日)

体育館開場 9:15

開会式 9:30

ステージ発表等 9:35～11:50

閉会 12:05(予定)

★場所 マドリッド日本人学校体育館

全校合唱
実行委員会
英語科
特別発表ダンス
英語科発表
小学部
中学部
特別発表ダンス
特別発表ダンス

マドリッド日本人学校
連絡先 教頭 中村大介
Tel 91-708-0088
e-mail nakamura@cjmspan.com
ご来場お待ちしております！
ご来校いただける際はご遠慮をお願いします。

※写真は昨年までのものです。

マド日の学び

俳句に挑戦

夏休みと2学期の始めにかけて、全校生徒で俳句作りに取り組みました。この作品はすべて JAL の「世界こどもハイクコンテスト」に応募しました。

今年の俳句のテーマは「スポーツ」です。全員が自分の身近にあるスポーツについて俳句をよみイラストで表現しました。

低学年の児童にとっては、字数がうまくはまる言葉をみつけるので精いっぱいだったかもしれません。中学生はさすがに心の中まで表現するのがうまいと感じました。17音に使う言葉をあれこれ工夫するのは日本語ならではの面白みだと思います。

作品を紹介します。

小学部 Y. H

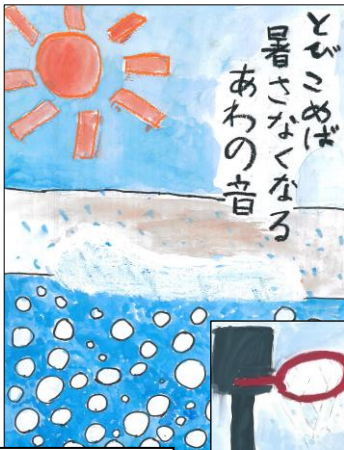


【小学部】

- ・楽しいな みんなでしたよ サッカーを
- ・ボーリング コロコロコロと ストライク
- ・ドリブルで ゴールをきめて うれしいな
- ・ボーリング ボールコロコロ たのしいよ
- ・くるくると まえまわりして 目がまわる
- ・とってパス とってドリブル はしってゴール
- ・なかやすみ バトミントンが たのしみだ
- ・すいすいと およぐのたのしい あついなつ
- ・なわとび ジャンプすきだよ うれしいな
- ・かつぞいけ はしってとって よしゴール
- ・やすみじかん OOちゃんとする バトミントン
- ・おたるでね スキーで遊ぶ かぜひいた
- ・つゆあけた ボルダリングで 遊ぶんだ
- ・サッカーを みんなでしたよ セ夕に
- ・そくてんを きれいにまわる 夏の朝
- ・夏がきた やつといけるよ 青い水
- ・ゴール いっせいに 人が 席を立つ
- ・とびこめば 暑さなくなる あわの音
- ・シュートして 流れるあせも 高くとぶ
- ・まわしめ 四股をふんだら さあどすこい

【中学部】

- ・夏空に「カキン」と響いて 高く舞う
- ・波が来た ボードに乗って サーフィンだ
- ・スポーツで 始まる時が 楽しみだ
- ・夏の空 走りながらも 日陰を探す
- ・やぶさめや バトミントンの 羽のごとく
- ・ストローク 今をつくるは 夢と友



小学部 M. N



小学部 T. M

学力の定着のために

9月26、27日に中学部の期末テストが行われました。

4日ほど前から放課後このテストにむけての補充学習も実施されました。自分で課題を見つけ、担当教員に質問する姿を見ることができました。



補充学習会

試験当日は、緊張感漂う中、学習の成果を画期するために必死に問題に取り組む姿が見られました。

日本人の心 いけばな

中学部生徒がいけばなに挑戦しました。海外で生活する子どもたちに日本の文化に触れさせたいと、草月流の師範の資格をもつ派遣教員が企画しました。

いけばな(華道)とは植物を主にしてそのほかの様々な材料を組み合わせ、構成して鑑賞する芸術です。また、欧米で親しまれているフラワーデザインは、どこから見ても統一されたフォルムを感じさせるようにいけるのに対して、華道では見る方向、すなわち正面が決まっているところが大きな違いなのだそうです。これはいけばなを床の間に飾るという文化から来ているということです。今回は「薔薇」と「ハルカス」をいけました。



中学部 K. S



中学部 S. N

いけかたで雰囲気が違うことがわかります。



校内学力調査

答案が返されたら点数を気にするだけでなくきちんと振り返りをし、さらに学習内容を定着させていく習慣を身につけていってください。

カンジー(漢字)博士の暗号読解

小学部5年生国語で「同じ読み方の漢字を使い分ける」ことをねらいとした学習をしています。

一人一人が同音異義語を利用して暗号文を作り、お互いに解読し合いました。

それでは、問題のひとつを紹介します。

カンジー博士より暗号文が送られてきた！
●▲■に当てはまる漢字をみつけなさい！

- ①食■を●理する。
- ②▲族で■車に乗る。
- ③ある男●が▲石を見つけた。
- ④人■の●品を▲う。
- ⑤花のおしべに▲粉がついている。

※同じ記号には読み方が同じで違う意味の漢字が入ります…。

小学部 Y. K



スペイン語でインタビュー

小学部3、4年生が社会科の「はたらく人とわたしたちの暮らし・店ではたらく人」の授業の一環でMercadonaへ行き、自分たちで考えた内容のインタビューをしてきました。

「品物はどこの国から取り寄せていますか」「品物は何種類ぐらいありますか」「一日にお客さんは何人くらい来ますか」などを質問しました。

全員がスペイン語で事前に質問を用意しました。店員さんにきちんと質問することができました。言葉の違いを乗り越えて学習を進めていく姿を大切にしていきたいと考えます。

海外の生活ならではの体験です。

スペインでの生活で、違う言語の人たちと積極的にコミュニケーションをとることができたことに「自信をもって」、世界に幅目を向けて活躍していくことを願っています。



どこから仕入れているの？

小学部5年生の社会科で、「わたしたちの生活と食料生産」について学習しています。その中で、いろいろな食品の産地について調べました。

夏休みに日本へ一時帰国した児童が食料品のパッケージやラベルをたくさん集めてきました。産地は国内だけでなく、外国からのものもあることがわかりました。また、国内の商品については、人口が多いことや、交通機関が発達していることが理由で、都市部で生産されているものもあれば、農業に関わるものは気候等の地方の特色を生かしたものがあることがわかりました。

日本地図を広げて、集めてきたパッケージなどを地域ごとに仕分けしていました。

普段気づかないところにも、意識すればたくさん

んの情報があるものです。世の中のいろいろなことに関心を持ち、消費者としても情報を得て活用していきたいものです。



派遣教員のつぶやき

夢のつづき

室垣美由希

夢のつづき…私の夢は「先生になって日本人学校に行きたい！」というものでした。その夢の続きを話します。夢を叶えた後、ようやく次の夢が見つかりました。それは、「人生をさらに楽しむ！」ことです。これを夢と言っていいのか…と思いましたが、これが私にとって今、叶えたいことのひとつとなっています。

私は、おしゃべりをするのが大好きで、日本にいた時には、一度会話が始めると時間を忘れて話していることもありました。私にとって、いろいろな人と会話を楽しむことが、人生をさらに楽しむことにつながっていました。

しかし、スペインに来てからというもの、ずっとスペイン語で伝えたいことを伝えられないもどかしさを感じていました。さらには、少し諦めていたようにも感じます。そんな時、一人のスペイン人にレストランで話しかけられました。いつものようにあいさつしかできないだろう…と思っていたところ、相手の方は、私がスペイン語が分からないことを知っても話し続けました。「今、練習だと思って使ってみて！いつでも練習相手になるよ！」と。

私は心の中で、「拙いスペイン語では、まだ練習にもならない…」と思っていましたが、知っている言葉を駆使して相手に伝えてみました。その言葉が伝わった時、私はとても嬉しく、自然と笑顔になっていました。会話とまではいきませんが、その時間を楽しんでいました。

今まで、もどかしさを感じていた言葉の壁。壁を作っていたのは自分かもしれません。伝えたいことを伝えるには“共通の言語”が必要です。相手が伝えたいことを理解するためにも“共通の言語”が必要です。それは、言語が分かれば、どんな人ともつながることができるということです。

スペインに来たからこそ、スペイン語という新しい言語に触れることができました。今、「言語の大切さ、素晴らしさ、面白さ」を身を持って感じています。

